

アドベンチャーツーリズム アカデミー



Adventure Tourism Academy

<ご案内>

世界的な自然志向やサステナブル意識の高まりにより、高付加価値な自然文化体験型観光としてのアドベンチャーツーリズム(以下AT)が注目されています。

日本の各地域でATを推進させるには、自然環境や文化財といった地域の資源について、適切な保護と活用をするために、専門的な知識と法規制の理解が必須となります。

ATの推進を図るためには、持続可能な地域づくりに貢献できるリーダー人材が必要であり、ガイドの技術向上だけでなく、地域コミュニティや行政との協働を促進するリーダーシップを育てることが求められています。

このため、本アカデミーでは、持続可能な観光を実現させるために、地域の多様なステークホルダーと共に、価値ある体験を創出して地域の魅力を最大限に引き出すことのできる人材の育成を目指します。

アドベンチャーツーリズムアカデミーが考えるアドベンチャーツーリズム推進人材像

本アカデミーでは、アドベンチャーツーリズムを推進し、持続可能な地域づくりに貢献する人材として以下の7つの要件を設定しています。これらの要件を満たす人材を育成し、高付加価値体験の提供、安全対策強化、環境保護、地域内連携のリーダーシップ、行政との協力、情報発信力、グローバルな視野での対応力を養います。



アドベンチャーツーリズムアカデミー



世界に選ばれる観光地域づくりへの貢献

お申込みからの受講までの流れ

受講環境の確認	オンライン講座を快適に受講いただくため、安定したインターネット接続、Zoomアプリの最新バージョンのインストール、カメラ・マイクの動作等を確認してください。
受講規約の確認	本講座の受講規約を確認してください。
受講申し込み・支払い	受講料は、指定された銀行口座へのお振込みによりお支払いいただきます。お振込みが確認でき次第、受講手続きが完了となります。
開講案内送付	お申込み完了後、メールにて開講のご案内をお送りします。

アドベンチャーツーリズム・アカデミーの5つの特徴

- ① 各分野の専門家による講座: 国内外で実績を持つ専門家からの直接指導
- ② いつでもアクセス可能なオンライン講座: 場所を選ばず学べる柔軟な学習環境
- ③ 持続可能な観光地域づくりの学習: 理論と実践を組み合わせたカリキュラム
- ④ 先進地域での実践的フィールドワーク: 現場での体験を通じてスキルアップを実現
- ⑤ ATの全国ネットワーク展開形成: 受講者同士の繋がりを深め、相互に長期的なキャリアを支援

年間スケジュール

テーマ	1か月	2か月	3か月	4か月	5~6か月
オンライン講座	AT人材像	世界に選ばれるデスティネーションにおける観光地域づくりを牽引するリーダー人材のあり方について学びます。			
	国際動向・海外ニーズ	国際的なツーリズムの動向を把握し、海外のAT先進地の取組状況や外国人旅行者が日本に求めるニーズについて学びます。			
	地域のサステナビリティ		国際的なツーリズムの動向を把握し、海外のAT先進地の取組状況や外国人旅行者が日本に求めるニーズについて学びます。		
	コミュニケーションマーケティング ツアープランニング			海外への情報発信手法、地域のブランディングの考え方、顧客獲得にむけたマーケティング手法を学びます。	
	品質管理・危機管理			世界基準のガイドの品質向上のあり方、事業者のみならず地域一体となった安全対策・危機管理について学びます。	
	ロードマップ作製		持続可能な観光地域づくりにつながるAT推進にむけたロードマップを作成します。		
フィールド研修				国内AT先進地域にて2泊3日のフィールド研修を行い、実践的にAT推進のあり方や持続可能な観光地域づくりの取組について学びます。	

オンライン講座

テーマ	講義内容	講師
AT人材像	世界に選ばれるデスティネーションの考え方と求められるATリーダー人材	山下 真輝 氏
国際動向・海外ニーズ	世界のツーリズム動向とAT市場への期待	亀山 秀一 氏
	外国人旅行者が求める高付加価値体験としてのAT	高田 健右 氏
	世界のAT先進地域と日本のAT地域としての可能性	芹澤 健一氏
地域のサステナビリティ	持続可能な観光地域づくりに向けた官民連携のあり方とエコツーリズムの取組	木名瀬 佐奈枝 氏
	世界のサステナブルツーリズムの動向とこれからの受入地域のあり方	熊田 順一 氏
	地元住民主導の観光地域づくりと高付加価値体験のあり方	内山 裕紀子 氏
コミュニケーションマーケティング ツアープランニング	メディアとの共創：地域の魅力を最大化するコミュニケーション戦略	岡本 岳大 氏
	持続的な集客にむけた顧客マーケティング手法	マイケル・ジョン・ハリス 氏
	外国人旅行者が求めるツアープランニングと地域資源活用	シャノン・ウォーカー 氏
品質管理 危機管理	ATGS※1に基づく高品質ガイドの育成と地域ブランドの強化	横堀 勇 氏
	事件事例から学ぶ危機管理	早川 修 氏
	地域特性に基づく安全対策・危機管理による品質管理の考え方	マイケル・ジョン・ハリス 氏

※1 ATGS(Adventure Travel Guide Standard)

フィールド研修

スケジュール内容(予定)

1日目	釧路空港にて集合後、専用車にて弟子屈町へ 川湯ビジターセンター内の見学及び阿寒摩周国立公園の全体像について 【講義】阿寒摩周国立公園におけるアドベンチャーツーリズム推進にむけた各種整備について (講師:環境省) 【講義】釧路川源流域ネットワークの取組について(講師:カヌーガイド関係者) 弟子屈町の地元関係者との意見交換 <川湯観光ホテルまたは同等クラス泊>
2日目	早朝：釧路川源流域にてカナディアンカヌー体験 午前：休憩後、阿寒湖へ 午後：【講義】阿寒湖におけるアドベンチャーツーリズム推進について ① 阿寒について(講師:阿寒地区関係者) ② 阿寒湖の環境について(講師:環境省関係者) 【アウトドア研修】阿寒湖周辺でのアクティビティ体験 阿寒湖のアドベンチャーツーリズム推進関係者との意見交換 弟子屈町へ(到着後フリータイム) <川湯観光ホテルまたは同等クラス泊>
3日目	午前：ワークショップ(アドベンチャーツーリズム推進ロードマップの磨き上げ) (講師:日本アドベンチャーツーリズム協議会関係者) 午後：釧路空港へ(釧路空港にて解散となります。)

※現地プログラムは実施時期等により変更となる場合があります。

開催概要

- 開催時期：【オンライン講座】約3か月を1クールとし、週1回、合計13回を目安として実施します。
【フィールド研修】オンライン講座終了後にアドベンチャーツーリズム先進地域にて3日間のフィールド研修を実施します。
(別料金) ※オンライン講座終了後、受講者の所在地域におけるアドベンチャーツーリズム推進にむけたロードマップを作成し、各専門家よりアドバイスをもらいます。ロードマップの提出後、修了証を発行します。
- 参加人数：1クール20名(フィールド研修は10名限定となります。)
- 参加費用：【オンライン講座】280,000円(税抜)(日本アドベンチャーツーリズム協議会会員 230,000円(税抜))
※フィールド研修の参加料金については別途ご案内します。
- 参加方法：所定の申込用紙にご記入いただき、PDFファイルにて、下記宛にメール添付するか、FAXにて送信ください。
- お申込・お問合せ先：アドベンチャーツーリズムアカデミー事務局
メールアドレス:academy@atjapan.org FAX:03-6260-1210

*記載の情報は変更となる場合があります。

講座名と講師略歴

<p>講座名 世界に選ばれるデスティネーションの考え方と求められるATリーダー人材</p> <p>山下 真輝氏 (一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事 JTB総合研究所 主席研究員、内閣府地域活性化伝道師</p> <p>全国各地の観光振興に関するプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。近年はスポーツツーリズム、ATの調査研究を行う。2014年より内閣府地域活性化伝道師として全国の観光振興政策を支援している。</p> 	<p>講座名 世界のツーリズム動向とAT市場への期待</p> <p>亀山 秀一氏 JTB総合研究所 主席研究員</p> <p>1988年運輸省(現国土交通省)入省。国土交通省観光庁国際交流推進課長、国連世界観光機関(UN Tourism)、JNTO理事長代理など、12年にわたり観光関係業務に従事。2021年国土交通省を退職後、2024年よりJTB総研主席研究員を務める。</p> 
<p>講座名 外国人旅行者が求める高付加価値体験としてのAT</p> <p>高田 健右氏 (一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 Global Marketing Director/ATTA Ambassador</p> <p>メルボルンのHolmesglen Technical and Further Education Chadstone校で国際ビジネス学位を取得後、外国人客対応や、大小の会合、会議での英語を用いた司会プレゼンテーションなどを行う。2020年5月からATTAのAmbassadorに就任。</p> 	<p>講座名 世界のAT先進地域と日本のAT地域としての可能性</p> <p>芹澤 健一氏 (一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事/ アルパインツアーサービス株式会社 代表取締役社長</p> <p>ガイドの教育、トレッキング・ハイキングコースの総合的プロデュースなどを行う。ニュージーランドのトレッキングの第一人者。アンデス・ロッキー、アラスカ、ネパール・ヒマラヤなどでは自然環境に配慮したロッジのプロデュース全般にも関わる。</p> 
<p>講座名 持続可能な観光地域づくりに向けた官民連携のあり方とエコツーリズムの取組</p> <p>木名瀬 佐奈枝氏 一般社団法人TESHI-COLOR 代表理事、 弟子屈町サステナビリティコーディネーター</p> <p>20年にわたって、北海道弟子屈町のアウトドア会社の経営に携わり、2020年に(一社)TESHI-COLORの代表理事に就任。2021年からは弟子屈町のサステナビリティコーディネーターとして、持続可能な観光地域づくりに取り組んでいる。</p> 	<p>講座名 世界のサステナブルツーリズムの動向とこれからの受入地域のあり方</p> <p>熊田 順一氏 JTB総合研究所 主席研究員</p> <p>訪日インバウンド事業で実践経験を積み、2014年から国連世界観光機関において日本人初の職員として勤務。SDGsと観光の研究を開始、その後、JTB総合研究所において同研究を継続。内閣府においてSDGs達成に貢献する観光分科会を主宰。</p> 
<p>講座名 地元住民主導の観光地域づくりと高付加価値体験のあり方</p> <p>内山 裕紀子氏 くまの体験企画 代表</p> <p>2002年、三重県尾鷲市へUターン後、くまの体験企画を設立。総務省ふるさとづくり大賞個人表彰を受賞。日本インタープリテーション協会ITS33修了などを経て、日本エコツーリズム協会エコツアーガイド養成講習修了し、NACS-J自然観察指導員を務める。</p> 	<p>講座名 メディアとの共創：地域の魅力を最大化するコミュニケーション戦略</p> <p>岡本 岳大氏 wondertrunk & co.代表取締役共同CEO、 デスティネーションプロデューサー</p> <p>日本の地方を世界のデスティネーションにすることを目標に、ワンダートラックアンドカンパニーを設立し、デスティネーション・プロデュース事業を展開。観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」アドバイザーとしても活躍。</p> 
<p>講座名 ①持続的な集客にむけた顧客マーケティング手法 ②地域における安全対策・危機管理による品質管理の考え方</p> <p>マイケル・ジョン・ハリス氏 (一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事/ 株式会社 キャンピオンズ チーフフレッシングオフィサー</p> <p>ニュージーランド出身。日本で最初にキャンニオングをツアーとして確立。スノーキャンニオングの立案者。長年の経験と多岐に亘る豊富なアウトドアスキルとカリスマ性で日本のAT業界を牽引。“世界をリフレッシュする”をミッションとして活動中。</p> 	<p>講座名 外国人旅行者が求めるツアープランニングと地域資源活用</p> <p>シャノン・ウォーカー氏 KODO合同会社 共同代表</p> <p>ニュージーランド出身。2019年にKODO合同会社をマイケル・ジョン・ハリス氏と共同設立。インバウンド誘致コンサルティングなどを行う。ニュージーランド政府観光局で9年間に渡り、PR、マーケティング等の業務に従事。2020年よりATTAメンバーとして活動。</p> 
<p>講座名 ATGSに基づく高品質ガイドの育成と地域ブランドの強化</p> <p>横堀 勇氏 WMAJ共同代表理事 WMAIインストラクター WEMT/アウトドアガイド</p> <p>カナダで環境学を学び、ロッキー山脈で山岳技術や救急法をマスター。その後カナダでガイド資格を取得後、WMAインストラクターとして災害救急法の普及に尽力する。さらに医療資格も取得し、現在日本国内で外国人対象のガイドとして活動中。</p> 	<p>講座名 事故事例から学ぶ危機管理</p> <p>早川 修氏 早川総合法律事務所 弁護士</p> <p>弁護士。さまざまな省庁で自然のなかでの活動における安全に関する役職を歴任。2003年のリバーラフティング転覆事故を契機に、リスクマネジメントの研修活動を展開。アウトドアの第一人者として、安全意識の向上に貢献。</p> 

※ 講座名は予定されたタイトルであり、変更となる場合があります。
※ 講師は変更となる場合があります。

